

視聴覚教育

NO. 394

発行日

25. 7. 19

発行

岡崎市AVL

編集

現職研修委員会

学習情報部

視聴覚用語

『USB 3. 0』

USB(Universal Serial Bus)はパソコンと周辺機器をつなぐ規格の一つ。USB3. 0は、それまでのUSB2. 0と比べ、データの転送速度(理論値)が十倍以上と高速になった。また、USB2. 0との互換性が保たれており、従来の機器もそのまま使える。

映像の力

視聴覚ライブラリー所長

齊藤

勝英

両翼の間からのぞく背中の水色が鮮やかな野鳥「翡翠(カワセミ)」。名前の漢字は、光の当たり方によっては緑色にも見える背中の色からきている。そのカワセミが、画面いっぱいに映ったかと思えば、あっという間に消える。再び画面に映ったときには、くちばしに小魚をくわえていた。そのまま大きく左右に頭を振り、足下の木の切株に小魚を打ち付ける。次の瞬間、小魚を頭から一気に飲み込んだ。

昨年度の第十回「ふるさと岡崎メディアコンクール」に野鳥を素材とした作品が応募された。冒頭のカワセミは、作品中の一シーンである。

この作品は、ハイビジョンカメラで撮影されている、野鳥の羽根の細部に至るまで鮮明な映像であった。映像の美しさに思わず息をのんだ。

そもそも動きが俊敏で、臆病な野鳥は、撮影が困難な被写体である。近くに寄って撮影をしようとしても、小さな物音ですぐに逃げてしまう。撮影をするためには遠く離れたところから、

大きな望遠レンズを使って撮影をするしかない。ところが望遠レンズは、扱いが大変難しい道具である。被写体を大きく撮影できる反面、どうしても視野が狭くなる。具体的に言うと、被写体の大きさを二倍にすると、レンズを覗いて見える範囲は半分になり、動きの速い被写体を視野に納めることが難しくなる。使いこなすには、高い技術が必要とする。

またこの作品は、10分少々映像に33羽もの野鳥が納められており、そのどれもが餌を食べたり、さえずっていたりという決定的瞬間であった。この作品を作り上げるために、途方もない時間が費やされていることが容易に想像でき、撮影者の野鳥に対する思いの強さに感嘆させられた。

人を感動させる映像の多くは、被写体への思いが感じられるものである。その思いを表現するための手段として、道具や技術が必要になる。手段を駆使して、被写体への思いを存分に表現できたとき、その映像は人を感動させる力を持つ。今年も、素晴らしい「映像の力」に出会えることを期待している。

大きな望遠レンズを使って撮影をするしかない。ところが望遠レンズは、扱いが大変難しい道具である。被写体を大きく撮影できる反面、どうしても視野が狭くなる。具体的に言うと、被写体の大きさを二倍にすると、レンズを覗いて見える範囲は半分になり、動きの速い被写体を視野に納めることが難しくなる。使いこなすには、高い技術が必要とする。

II 視聴覚教育あれこれ II

●夏の『TAV』(学習情報夏期自主研修会)

夏季休業中の夕刻に、岡崎市内小中学校の全職員を対象にした自主研修会を3回開催します。普段は忙しくてなかなか参加できないという方も、この機会に参加してみたいかがでしょうか。

7月31日(水) 17時30分～ 総合学習センター

情報セキュリティについて

8月8日(木) 17時30分～ 総合学習センター

教研レポート、論文の書き方

8月21日(水) 14時00分～ 葵中学校

タブレットPCの活用方法

申し込みなど詳細については学校に届いているTAVの案内をご覧ください。

●授業力アップセミナー【基礎編】

【日程】8月2日(金) 9時～

【場所】羽根小学校

【内容】情報モラルの指導法

ICTを活用した授業づくりのポイント

●第30回NHK杯

全国中学校放送コンテスト愛知県大会の結果

7月6日(土)、NHK名古屋放送局で中学校放送コンテストの愛知県大会が開催されました。岡崎市の中学生も参加し、素晴らしい成果を収めました。おめでとうございます。

【朗読部門】優良賞 岡崎市立六ツ美北中学校 柴田 彩佑さん (全国大会出場)

【アナウンス部門】入選 岡崎市立北中学校 杉田 莉沙さん

【ラジオ番組部門】優秀賞 岡崎市立北中学校 「メモリースティックをポケットに」

(全国大会出場)

(全国大会出場)

(全国大会出場)

(全国大会出場)

実践報告Ⅱ

インターネット利用安心安全教室での学び

童谷小学校 林 俊樹

6月12日に本校で、インターネット利用安心安全教室を開催した。対象は5、6年生の児童及びその保護者で、講師として愛知県警生活安全部サイバー犯罪対策課の杉浦規夫さんを招へいた。高学年の児童にとって、インターネットは身近なものになりつつあり、学校や家庭で使用する機会は増えてくる。そこで、情報に対する正しい知識や安全に利用するためのスキルを育成したいと考



え、講習会を開催した。講師の方からは「ネットは世界中の人が利用し、人を傷つける悪い人もいる」ことや一方で「加害者になる可能性もある」ことなどを具体的にスライドを使って説明していただいた。また、迷惑メールの対処法では「メールを間違えて開いてしまい、違法な金銭の請求がきたときは、すぐに親に相談すること」などの話があった。児童は、自分の生活にも関わる重要なことなので、真剣に話を聞いていた。授業後、「家庭でパソコンを利用しているの、悪い人とながらないように気を付けて使い、困ったことや分からないことがあったらすぐに親や先生に相談したいです」と感想を述べた。

児童だけでなく、参加した保護者にとっても正しい利用法を学習する機会になった。私自身も、学んだことをこれからの実践に生かしていきたい。

Ⅱレッツ・トライⅡ

USBオーディオインターフェースの活用

学芸会などの行事では、音楽は欠かせない要素である。良質の音で、簡単に操作ができればなおよい。多くの学校ではCDが中心に使われていると思うが、本校の学芸会では、2年前からノートPCとUSBオーディオインターフェースを組み合わせて利用している。

具体的には、劇などで使う音楽を事前にCDからリッピングし、それぞれフォルダにまとめて保存しておく。これによって毎回CDを出し入れしたり、予めCD-Rに焼いたりする必要がなくなるし、マウスによる操作だけで済む。

音楽の出力は、ノートPCとUSBで接続したUSBオーディオインターフェース（本校はRolandのDuo-CAPTUREを使用）のラインアウトからアンプにつなげて行う。ノートPCにリッピングした音楽は、デジタルで保存されており本来、高音質なのだが、PC内は様々な雑音が存在するため、USBによりデジタルで出力し、PC外でアナログ変換することで良質な音のまま鳴らすことができるのである。



学芸会や運動会で活用できる方法なので、是非試していただきたい。

（宮崎小学校 学習情報主任 浜本安彦）

ライブライブラリーだよ

●視聴覚教材の相談・利用は

視聴覚ライブラリーへ！

視聴覚ライブラリーには豊富な教材や機材がそろっています。是非ご利用ください。

●教材の検索や予約は、ライブラリーのホームページから簡単にできます。（方法は「視聴覚教材・機器利用の手引き」を参照）

<https://www.oav.jp/oav/>

●電話でも教材の相談や予約ができます。●学校への教材貸出や返却は、巡回郵便を利用できます。（要電話依頼）

また「視聴覚教材・機器利用の手引き」にも教材目録が載っています。映像や動画を授業に役立ててください。

●自作教材制作に取り組んでみませんか？

教材研究などにじっくりと取り組める夏休み中に、映像教材の制作にチャレンジしてみませんか。撮影した動画や静止画を、パソコンで簡単に編集できます。ライブラリーでは、



パソコンを使ったノンリニア編集の体験や相談等も随時受け付けています。まずはお電話を。

※岡崎市視聴覚ライブラリー

電話 23 - 6789